

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績		
【法人名】 株式会社 さいたまりバーフロンティア	目標	利用者数 176,000人 (令和3年度収支計画 167,000人)	売上高 1,597,000千円 (令和3年度収支計画 1,514,000千円)	税引前当期純利益 33,500千円 (令和3年度収支計画 24,500千円)
	各年度の実績	【令和2年度実績】 136,473人 【令和3年度実績】 180,715人	【令和2年度実績】 1,093,891千円 【令和3年度実績】 1,540,607千円	【令和2年度実績】 △227,406千円 【令和3年度実績】 96,794千円
	法人による自己評価	令和2年度はコロナ感染拡大による緊急事態宣言のため、4～5月の約2か月間、営業休止となったが、令和3年度は利用者に安心してプレーしていただける環境整備に努めた結果、営業休止期間がゼロとなった。また、アルコール販売や大型コンペの利用制限を継続して営業する中、「屋外スポーツであるゴルフは3密が避けられるのでコロナの感染リスクが低い」という意識が一般の方々に浸透したため、利用者数は順調に推移し、上半期の利用者数は前年度を4万人以上上回った。 下半期においても、雨や降雪の影響を受けた月もあったが、台風の影響もなく、好天に恵まれた月もあったため、安定した利用者数を確保することができ、下半期の利用者数も前年度を約500人上回った。 その結果、通期の利用者数は前年度実績を44,242人上回る180,715人となった。これは、令和3年度の収支計画である167,000人を上回り、令和4年度目標の176,000人も上回っている。	令和3年度は、景気の動向やゴルフ人口の高齢化など例年の課題に加え、引き続き先の見通せない「コロナ禍」において、利用者に安心してプレーしていただける環境を提供するとともに、利用者数や売上高の減少など不測の事態に備えるため、内容を十分に精査した予算執行に努めてきた。 また、令和2年度の2か月間がほぼ利用者数がゼロであったこと、利用者の屋外スポーツ、特にゴルフに対する意識が向上したこと等により、令和3年度は利用者数が大幅に増加し、それに伴い、売上高も前年度を大幅に上回るようになった。 令和3年度通期の売上高は前年度実績を446,716千円上回る1,540,607千円となった。これは、令和3年度の収支計画である1,514,000千円を上回ったが、令和4年度目標の1,597,000千円には及ばなかった。	令和3年度は、景気の動向やゴルフ人口の高齢化など例年の課題に加え、引き続き先の見通せない「コロナ禍」において、利用者に安心してプレーしていただける環境を提供するとともに、利用者数や売上高の減少など不測の事態に備えるため、内容を十分に精査した予算執行に努めてきた。 また、令和2年度の2か月間がほぼ利用者数がゼロであったこと、利用者の屋外スポーツ、特にゴルフに対する意識が向上したこと等により、令和3年度は利用者数が大幅に増加し、それに伴い、売上高も前年度を大幅に上回るようになった。 売上高が大幅に増加した結果、税引前当期純利益も令和2年度実績を324,200千円上回る96,794千円となった。これは、令和3年度収支計画である24,500千円を上回り、令和4年度目標の33,500千円も上回っている。
【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和4年度				